

平成 27 年

若獅子旗争奪『春季オレンジボール大会』実施要綱

- ① 目的 低学年時期から試合に出場して野球を楽しみ、ルールを覚え、挨拶や礼儀を学ぶ
- ② 大会名称 若獅子旗争奪『第 17 回春季オレンジボール大会』
- 主催：文京区少年軟式野球連盟
後援：若獅子クラブ、東京新聞、東京中日スポーツ
協力：中央区少年野球連盟、台東区少年軟式野球連盟
- ③ 実施日 3/1・7・8・14・15・21・22・28・29 4/4・5・11・12
- ④ 大会会場 文京区後楽公園少年野球場（文京区後楽 1-6-25）
文京区六義公園運動場（文京区本駒込 6-16-10）
中央区晴海少年野球場（中央区晴海 2-6）
台東区少年野球場（台東区今戸 1-1-10 リバーサイドスポーツセンター内）
- ⑤ 参加資格
- ・男女共に新小学 4 年生（現小学 3 年生）以下で編成された単独チーム
 - ・支部から推薦を受けたチームで、大会日程に対応できるチーム
- ⑥ 試合球 低学年用ナガセケンコー D 号（オレンジボール）で、本部で用意します
- ⑦ 試合方法
- ・試合時間は二回戦まで約 60 分、三回戦以降は時間制限なしで 5 回まで
 - ・本投間は 14M、塁間は 21M で行う
 - ・すべて 3 回以降 7 点差でコールド成立。日没や雨天の場合は 3 回で成立
3 回以前に中止になった場合（ノーゲーム）、及び 3 回以降タイゲームで中止になった場合は再試合とする。
 - ・同点の場合は 1 回のみ特別方式（無死満塁、継続打順）を実施し、決着がつかない場合は抽選。ただし準々決勝、準決勝、決勝は決着がつくまで繰り返す
 - ・試合中は、バッター、ランナー、コーチ（選手）、ネクストバッターはヘルメットを着用のこと
捕手も防具と防護用ヘルメットを着用のこと
 - ・投手の投球回数は 1 日 5 イニングとする。但し特別延長戦については適用しない
 - ・幼年選手の投げ過ぎによる故障を防止するため、攻撃側が 10 得点を越えた場合はアウトカウントにかかわらず攻守交代（チェンジ）とする。また 20 点差がついた場合は、その時点で試合終了とする（文京低学年ルール）
 - ・ボークとインフィールドフライについては適用しない
 - ・守備側、攻撃側、監督のタイムは 3 回とする。
 - ・外野金網フェンスに直接当たったフェアボールは本塁打とする（六義を除く各野球場）
 - ・チームのユニホームを着用し、指導者背番号（28～30 番）をつけた監督及びコーチにかぎり、攻撃時にコーチャーボックスに入ることを認める
 - ・グラウンドのルールについては別途定める
 - ・スパイクシューズの同色の規定は適用しない。
 - ・その他は公認野球規則、全軟連特別規則、各会場ローカルルールに準ずる
- ⑧ 試合結果
- ・連盟ホームページに掲載
 - ・週明けの火曜日以降に「東京新聞」と「東京中日スポーツ」に掲載
- ⑨ 日程確認 雨天の場合の確認（当日朝 7 時）と日程の確認は連盟ホームページで確認のこと
※すべて非常に水はけの良いグラウンドで、雨が早朝に止めば実施します
- ⑩ 連盟HP 文京区少年軟式野球連盟 <http://www.bsnnbb.jp>